



繊維研究部では研究のほか、技術相談、依頼試験、開放機器など様々な技術支援事業を実施しています。繊維研究部では保有機器の開放機器化を積極的に進めています。

平成24年度より、マーチンデル磨耗試験機、ホットプレス試験機を新たに追加しましたので、お知らせします。

○マーチンデル磨耗試験機（2個掛け）

JIS L1096:2010 8.19.5 E法に規定された磨耗試験機で、主に羊毛の織物、編物の磨耗強さ、磨耗による変退色及び外観変化を評価する場合に使用します。

試験片と厚さ3mmのポリウレタンフォームを重ねて直径38mmの円形にカットし、試料フォルダにセットします。次に、摩擦台に標準フェルト布と標準摩耗布を重ねてセットします。衣料用の場合は9kPa、家具・カーペット用の場合は12kPaの押圧荷重を加えて試験片と標準摩耗布を多方向に摩擦します。

エンドポイントは次の3つから選択します。

- 1) 糸切れ
- 2) 変退色
- 3) 外観変化（起毛の喪失など）

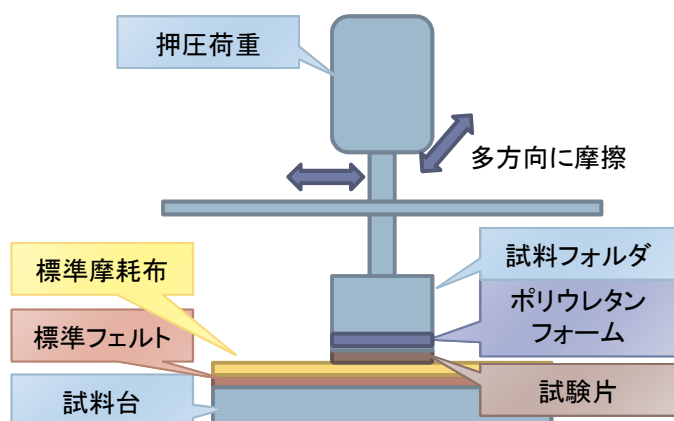


図1 マーチンデル磨耗試験機（インテック(株) 型式：902）

○ホットプレス試験機

CFRPなど繊維プラスチック複合材料の成形などに使用します。主な使用は次のとおりです。

- 1) プレス面積 : 900cm²
(30cm×30cm)
- 2) プレス最大圧 : 2MPa (20kgf/cm²)
- 3) 油圧最大値 : 700kgf/cm²
- 4) 温度 : 室温~300℃
- 5) メーカー : (株)丸東製作所 型式ML-43



H24年度 繊維研究部 研究成果発表会についてご案内します。

○ H24年度 繊維研究部 研究成果発表会

- 主催 ■■ 岐阜県産業技術センター、繊維機械学会東海支部（共催）
 ■■ 日時 ■■ 平成24年4月17日（火） 13:30～17:00
 ■■ 会場 ■■ 岐阜県産業技術センター 3F 講堂
 〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及47
 ■■ 参加料 ■■ 無 料

◆◆◆プログラム◆◆◆

1. あいさつ

2. 講演

13:40～15:10

『機能性素材の評価方法』 一般財団法人カケンテストセンター研究開発室長 倉本 幹也 氏

近年、繊維製品においては、保温性、冷感、吸汗速乾性、抗菌・防臭等の機能性を付与した製品が増加しています。県内繊維関係企業においても機能性製品の開発や製造が行われており、機能性評価試験や技術相談が急増しています。そこで、今回の講演では、カケンテストセンターが実施している衣服の機能性・快適性評価並びに抗菌・防臭性評価等、機能性評価の概要とその動向について紹介していただきます。

◆◆◆休憩◆◆◆

3. 研究成果発表会

15:20～16:40

①「昇華プリントを可能とする綿の改質技術」

主任専門研究員 奥村 和之

部分解重合ポリエステル粒子を活用した昇華プリントを可能とする綿の改質技術の実用性を検討するため、協力染色整理工場の生産ラインによる加工実験を行いましたので、その結果を報告します。

②「環境対応型ハロゲンフリー難燃繊維の開発」

専門研究員 立川 英治

素材自体に難燃性を付与したポリエステル繊維を開発するため、ポリエステル樹脂（ポリマー）とリン系難燃剤を反応させて熔融紡糸可能な難燃ポリエステル樹脂を作る条件について検討しましたので、その結果を報告します。

③「クレーズを利用した香り繊維の開発」

専門研究員 林 浩司

クレーズ（フィルム等を特殊条件下で引っ張るとできる非常に小さい穴）を利用した機能性繊維の開発に取り組み、その一環として、香りを保持・放出する繊維について検討を行いましたので報告します。

④「クレーズを利用した蓄熱蓄冷繊維の開発」

専門研究員 中島 孝康

クレーズを利用した機能性繊維開発の一環として、蓄熱蓄冷繊維について検討を行いましたので、その結果を報告します。

⑤地域資源発掘活用プロジェクト事業「可染ポリプロピレン繊維

を利用した軽量・保温・速乾ウール製品の開発」

専門研究員 林 浩司

産業技術センターで開発した染色可能なPP繊維をウールに混紡しオーバー等の製品試作を行いました。軽量性、保温性、乾燥性等について評価を行いましたので、その結果を報告します。

⑥地域資源発掘活用プロジェクト事業「岐阜県の地域資源を用いた

エシカルライフスタイルの提案」

主任専門研究員 山内 寿美

竹・紙糸・絹を用いた肌にやさしい生地開発とアパレル・インテリア製品の試作をしましたので報告します。

4. 所内見学（希望者のみ）